

記者発表資料 3枚

平成29年7月10日  
福島県土木部道路整備課  
福島県会津若松建設事務所

## 国道401号博士峠工区の起工式を行います。

国道401号は、広域的な物流・観光と救急・地域医療などを担う重要な道路です。

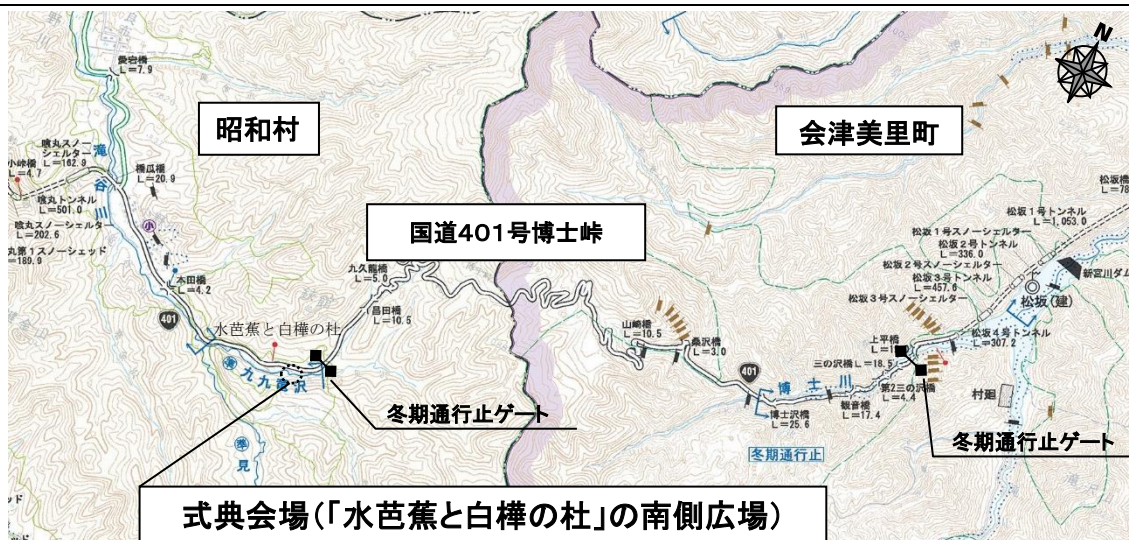
大沼郡昭和村と会津美里町にまたがる博士峠は、急カーブや急勾配が続くため冬期通行止めを余儀なくされており、地域の生活や救急医療に大きな支障となっていることから、地元の方々や商工団体等から早期の道路整備を強く求められてきました。

このため県では、平成26年度より、延長約4.5キロメートルのトンネルを含む約7.4キロメートル区間について、道路改良事業に着手しました。

このたび、早期完成を祈念し、県、昭和村並びに会津美里町の主催による起工式を執り行います。

1 日 時 平成29年7月31日(月) 午前11:00~

2 場 所 大沼郡昭和村大字小野川地内(「水芭蕉と白樺の杜」の南側広場)

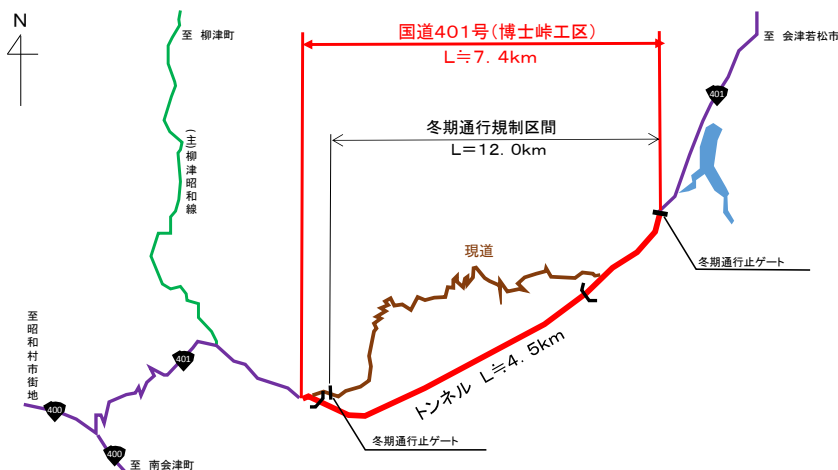


### 【問い合わせ先】

土木部 道路整備課 主幹兼副課長 手塚 孝良  
電話 024-521-7502 (内線 3570) F A X 024-521-7951  
会津若松建設事務所 主幹兼事業部長 鈴木 由起彦  
電話 0242-29-5403 (内線 403) F A X 0242-29-5459

## 1. 事業概要

- ・起終点 : 福島県大沼郡会津美里町松坂地内～福島県大沼郡昭和村大字小野川地内
- ・延長等 : 約7.4km【2車線 設計速度 50km/h (第3種3級)】
- ・主な構造物 : (仮称) 博士トンネル L≒4.5km



## 2. 道路交通上の課題

### 【課題一①】脆弱な道路網

- ・昭和村内には村外と連携する国県道は国道401号、国道400号、柳津昭和線の3路線のみです。
- ・冬期間会津若松市方面が通行止めとなるため、国道252号により大幅に迂回する必要性が生じています。
- ・本箇所は、幅員が4.0(5.0)mと狭く、大型車同士のすれ違いが困難な区間が3.6kmと長くなっています。
- ・昭和村は、役場と3次医療機関を最短で結ぶ区間が冬期交通不能区間となっている唯一の地域です。



写真1：R400 玉梨  
スノーシェッド落石状況



図1. 昭和村道路網



写真2. 博士峠の幅員狭小区間

【課題②】救急車が回避している

- ・現在、昭和村からの救急搬送の約68%が会津若松市内の病院へ搬送しているにも関わらず、患者への負担を避けるため、急勾配や急カーブの続く博士峠を搬送ルートとはせず、国道252号や磐越道を経由しており、多大な時間を要しています。

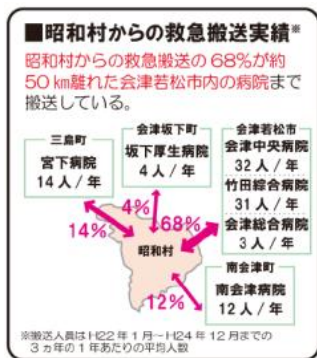


図2. 昭和村からの救急搬送実績



図3. 第3次医療施設の60分圏域

3. 整備効果

【効果①】冬期通行止めの解消と災害時避難ルートの確立

- ・現在の冬期通行止め区間を整備することにより冬期通行止めが解消され、博士峠の通年通行が可能となります。
- ・峠部の落石や斜面崩壊危険箇所をトンネル整備することにより災害に強い道路となり、災害時に信頼できる避難ルートとなります。



図4. 命をつなぐ道路としての効果

【効果②】第3次救急医療施設へのアクセス向上

- ・会津若松市内への救急搬送時間が大幅に改善されます。

【効果③】地域振興の発展

- ・博士峠の通年通行化の実現により、奥会津地域の交流が活性化され、地域の振興が期待されます。

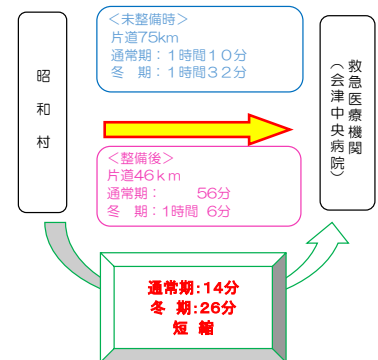


図5. 昭和村から救急医療機関までの救急搬送所要時間